

# ためなが温泉病院

住所	箕面市今宮 4-5-24	電話	072-729-7615
病床数	266床	病棟数	4病棟

人権センターニュース No. 89 より

## オンブズマン活動報告

平成 20 年 5 月 16 日訪問

### 病院全体

2~3年前に法人になり、もともとあったグループホームに加え、制度外で自立支援の寮(1号棟)をつくり、13名が入居。運動場に2号棟、3号棟と建てる計画がある。支援センター等は遠いので、入居者は病院の清掃業務やデイケア通所。病院の改修工事が今年(平成20年)6月から始まる。患者が使える洗濯機・病室入口の扉・ベッド周りのカーテンを設置し、電話の設置場所を変える予定。前回訪問時(平成17年4月)の報告書で検討事項としてあげた入浴は、希望すれば週3回入れる。

\*\*\*

- (1)人権委員会：なし。投書箱は外来ロビーに設置し、不定期で相談室が回収する。
- (2)行動制限最小化委員会：設置している。
- (3)担当制：患者ごとに担当看護師、病棟ごとに担当PSWがいる。
- (4)診察：診察室は無。詰所等で行う。
- (5)服薬：「薬の時間です」と放送し、詰所前に並んでもらう。患者によって、手渡したり、看護師が口に入れる。
- (6)外出：開放処遇患者は詰所で申出て職員が鍵を開ける。閉鎖処遇の患者は週1回(決まった曜日)職員が付添い売店に行く。OTプログラム「お買物クラブ」で買物に行くこともある。
- (7)金銭管理：金銭管理費100円/日。1週間、1ヶ月ごとに管理する患者のベッドサイドには鍵付きロッカー(無料)がある。
- (8)食事の選択メニュー：なし。
- (9)入浴：週2回と希望者は日曜日に内科病棟にある温泉(近隣の人も入りに来る)に入れる。
- (10)面会：面会室がある。
- (11)携帯電話：持込みできない。
- (12)院内売店：ある。現金か伝票を使用。
- (13)医療福祉相談室：PSWは5名、デイケアと病棟を担当。

\*\*\*

### 病棟の様子

2階が女性病棟、3階が男性病棟。浴室や隔離室は1階に有。2、3階の旧棟と新棟の間はつながっている。窓に鉄格子があり、雑巾や靴下が干してあった。デイルームの長いすはガムテープで複数ヶ所、補修されていた。トイレのドアや非常口電灯等のガムテープのはずし残りや窓のカーテンがはずれたままになっているところがあった。スプリンクラー・火災報知機・非常ベルに埃がたまっていた。詰所近くには食中毒やインフルエンザに関するもの等が掲示されていたが、平成10年発行のものもあり、貼りっぱなしになっている。病棟で出会った職員から「古い病院なのでいろいろ不都合がある。臭いもするでしょ？今後の改修に期待しています」との声があった。

#### 【隔離室】

4室。窓は鉄格子と金網の二重。壁はコンクリートで堅い。モニターカメラ、集音マイクが有。2時間おきに2名で巡回。トイレを流すのは外から。

## 【電話】

詰所カウンターや詰所横の廊下に有、囲い等は無。新3階では権利擁護機関の連絡先の掲示が電話から離れた場所に掲示され、見ながら電話がしにくい。「できることからはじめよう 障害者社会復帰の冊子」等があった。

## 【病室】

入口扉やベッド周りのカーテンがなく、廊下から室内やベッド横のポータブルトイレが見えた。ロッカーは鍵があるものとなないものがあった。新館は3~6人部屋が中心だった。新3階には夜間に拘束が必要な患者のベッドに、使用されていない拘束帯が設置されたままだった。旧館には11~12人部屋があり、介助の必要な患者の部屋。2~4人の畳部屋もあり、布団がたたんであった。

## 【トイレ】

トイレトペーパーがなく、使用時にペーパーをもっていく。新2階は和式2、洋式2で1室は壊れていた。手洗いは2つで1つは壊れていた。旧2階は和式2・洋式2のトイレと和式1・洋式1の2ヶ所があった。3つある洗面台の排水口の周りには茶色い泡の固まったようなものが付着していた。

## 【浴室】

温泉とそうではない2つの浴槽が有。カランは10ヶ所でシャワーは2つ。女性介助は女性、男性介助は男性がする。入浴後の浴槽にははっきりわかる垢がたくさん浮いていた。

## 【洗濯】

洗濯機は無く、全て病院側が行う。洗濯料は1回につき男性が280円、女性が330円。

### 新2階（女性 閉鎖）

急性期から慢性期の患者で年齢層も幅広い。絵画作品コーナーには作品が貼られずOTスケジュール表(趣味の園芸・個人活動等)が有。

### 旧2階（女性 閉鎖）

高齢者が多く、ベッドで寝ている患者が多い。廊下の壁際にしゃがみこんでいる患者もいた。職員は介助等で忙しそうだったが患者の動きは少ない。テレビ、座卓、リクライニング座椅子、ラジカセ、床の間のある部屋があった。

### 新3階（男性 閉鎖）

急性期、慢性期の患者が多く、20~30年間入院の患者もいる。訪問時は入浴時間で、デイルームに順々に患者が集まり、職員から名前を呼ばれて1階にある浴室に向かっていた。

### 旧3階（男性 閉鎖）

慢性期で高齢の患者が多い。病室の私物を置くための棚には、目隠しのカーテンが設置されていたが、かなり汚れていた。患者によると「半年に1回洗うかどうか」。

## 患者の声

### 新2階

「職員を呼ぶには、廊下へ出て探さなければいけない」「10年以上入院しているが退院についての話は出てこない」「トイレや病室の便や尿のにおいが気になる」「楽しみなんか何もない」「週2回は少ない。もっと入りたい」「外出の仕方がわからない」「買物に行くのを増やしてほしい。おやつを食べたい」「私たちみたい動ける患者は、シーツ交換は自分でやる。部屋のそうじも職員がするのでは不十分なきがある自分で自分たちでもやっている」「お金は全て1階の事務所で預けさせられている。伝票を渡される」「薬は詰所前に並ぶ。看護師が口に入れてくれる。自分のコップだけ持って行く」「何度か退院の話が出たが、なぜかなくなった。理由は聞いていない」「医師や看護師に何かをお願いしても『わかりました』と言うばかり」「納得のいく説明がほしい」「病院内に気軽に相談できる人がいない」

### 旧2階

「畳の部屋が多い」「掃除はヘルパーさんがしてくれる」「電話をかけようと詰所へ行ったら誰もいなくて、中

を覗き込んだら突然後ろから職員に『外泊、退院、禁止!!』と怒鳴られた」「面会に来てくれた恋人に会わせてもらえなかった。なぜなのか」「電話で友人とも話したいが、電話の内容がスタッフに聞こえるので話しくい」「なんとか退院できないか」

### 新3階

「たばこの本数は、人によって決められている。なぜその本数なのかはよくわからない」「(外出や退院については、)医師の意見が大きい」「お金がない」「家族のこととかがあって退院しづらい」「(退院や家族のことについて PSW ではなく)医師に相談する」

### 検討事項

#### 【任意入院患者は原則として開放処遇を】

前回の訪問時(平成 17 年 4 月)、自由に出入りできる病棟をつくる計画があったが、今回の訪問時も全てが閉鎖病棟のままだった。開放処遇の可能な患者が、病院の外の自由な空気や社会的な刺激から遮断された状況が長期化すると、かえって病気の症状の慢性化を進めるのではないか。希望すれば外出は可能であると言われても、躊躇する患者もおられるのではないだろうか。開放処遇の病棟をつくり、患者の実態に即した処遇の検討をお願いしたい。(病院: H21 には改修工事を始めます。工事完了後は開放病棟を設置します。その後は個別開放にて開放処遇を行う患者が希望しやすい環境作りを致します。)

#### 【個別の状況にあわせた金銭管理を】

週渡しや月渡しの患者も数名いたが、金銭は全員が一旦病院に預けることになっていた。患者の状態によっては金銭を一度病院に預けるという手続きなく自己管理ができるような選択肢を設け、1 人でも多くの患者が金銭を自己管理できることを目指していただきたい。手渡しの周期や金額は患者によって、また同じ患者であっても時期によって様々のはずである。1 人 1 人の患者と相談しながら個別に細やかな対応をお願いしたい。(病院: 月渡しの患者の中にも使い過ぎて、月後半には困っておられたケースがあり、個々のケースに応じて対応していく様に努力します。)

#### 【個別の状況にあわせた配薬方法を】

薬は詰所前に並んで受け取るようになっていた。他の病院では「病室の患者の側いき、一人ずつ確認しながら手渡す方が間違わない」との説明があり、患者からは「声をかわし納得して飲める」との声が出ていた。薬の渡し方や服薬方法については、一人一人の患者の状態に応じ、個別に工夫をお願いしたい。まずは看護師が病室を訪ねて薬を手渡すことから始めるなど、段階を設けた対応をお願いしたい。(病院: 看護スタッフと協議して部屋にて服用して頂けるようにします。)

#### 【退院支援の強化策を】

病院独自で寮をつくれるなどもされているが、平均在院日数が 2271 日(平成 20 年 5 月 16 日時点)であり、全国平均 320.3 日(平成 18 年)と比べてもかなり長い。退院促進事業等をさらに積極的に活用し、退院に向けた個別の支援、地域の社会資源との連携などを進めていただきたい。(病院: 認知症患者や高齢者の精神疾患の方が多く、一般的に比較することは難しいが、出来るだけ短くしていきたい。)

#### 【隔離室のトイレ周りの困い】

隔離室のトイレ周りに困いがなかった。患者の尊厳を守り、プライバシーを保護するという視点からもトイレ周りの困いの設置について検討をお願いしたい。(病院: 改修工事後は困いが設置されますが、その間患者の状態に応じてスクリーン等の設置を行います。)

#### 【便や尿の臭いについて】

トイレや病室などで便や尿の臭いがするところがあった。廊下に使用済み紙おむつ入りビニール袋があったり、患者からは「部屋が臭い。ポータブルトイレをすぐにきれいにしてくれないから。つらい(一緒に確認すると、確かに部屋で便臭がした)」との声もあった。こまめな対応や、患者が過ごしやすい環境づくりの検討をお願いしたい。(病院: 今もすみやかに排便後の処理については行っていますが、換気が出来ていないので消臭スプレーなどを用いております。)

### 【鉄格子について】

廊下や病室、浴室等の窓には鉄格子がついていた。改修の際にも鉄格子を外す予定はないとのことであったが、鉄格子を代えて、安全や換気に配慮した別の構造を工夫する病院がある。入院患者に圧迫感と屈辱感を与え、隔離と収容を象徴して偏見を助長してきた鉄格子は外す方向で、検討をお願いしたい。(病院：改修工事で鉄格子は外します。)

### 【拘束帯について】(新3階)

夜間に使っている拘束帯がベッドに設置されたままになっていた。患者に不快感や圧迫感を与えるだけでなく、危険なのではないだろうか。(病院：その様なことがないように職員に教育しております。)

### 【安心して診察を受けられる環境づくりを】

診察室がなく詰所で診察が行われている。患者の個人情報を守られ、安心して話ができるような診察場所が必要ではないだろうか。診察室の確保や衝立等を使用する等、患者がまわりを気にせず主治医と話せる環境の保障をお願いしたい。(病院：前向きに検討します。)

### 【廊下などに置かれている荷物について】

デイルームの壁沿いや廊下、廊下突き当たり等にはロッカー・移動ベッド・ポリ容器のゴミ箱・使用済み紙オムツ入りビニール袋・台車・車椅子用テーブル等が置かれていた。車椅子等を利用する患者が多い中、非常時の避難の際に危険ではないだろうか。検討をお願いしたい。(病院：危険がある状態で物を置いていないと思いますが、普段使用しない物については倉庫の確保をして、出来るだけ廊下には置かないようにします。)

### 【人権委員会の設置を】

病棟で疑問に思ったことなどについて、訪問当日のやりとりでは、ほぼ「改修しますので(改善される)」との回答だった。例えば、前回の訪問時にも検討をお願いしていたポータブルトイレの使用が廊下から見える状況などについては、カーテンが設置されるまでトイレの周りにスクリーンを設置したり、病室入口にカーテンを設置する病院もある。隔離室の壁の落書きが平成17年の訪問の時と変わっていなかったこと等に疑問を感じた。

「患者の権利宣言」に挙げられている病棟の療養環境を改善するために、人権委員会を設置し、意見箱の活用や病院全体として患者の権利について取組める環境づくりの検討をお願いしたい。(病院：改修工事までに出来ることについては取り組んでいきます。)

### 【分煙について】

病室に煙が流れている病棟があった。分煙の検討をお願いしたい。(病院：検討致します。)

#### 病院への質問

①ベッド周りのカーテンの設置、②病室入口の扉の設置、③公衆電話の設置場所、④トイレトペーパーの設置、⑤患者の使える洗濯機の設置について、訪問後の改修でどのようになったか教えて下さい。(病院：改修工事開始日が遅れており、未だ着工していない。)

H20 大阪府精神保健福祉関係資料より

(ためなが温泉病院分)

246名の入院者のうち統合失調症群が132名(54%)、認知症など症状性を含む器質性精神障害が66名(27%)精神作用物質による精神及び行動障害が23名(9%)。入院形態は任意入院129名(52%)、医療保護入院117名(48%)。在院期間は1年未満が65名(26%)、1年以上5年未満が82名(33%)、5年以上10年未満が48名(20%)、10年以上20年未満が30名(12%)、20年以上が21名(9%)。

(H20.6.30時点)